

# 業務速報

2014年度年末手当および商品券の支給に関する第3回団体交渉

## 年末手当3.0ヶ月回答不満！

業績の反映・社員の努力・家族の協力にしっかりと応えるべきだ！

東海道新幹線の開業50周年記念5万円分の商品券は無視！

本部は11月7日、2014年度年末手当第3回団体交渉を開催し、会社が回答を示しました。会社は回答にあたって、第2四半期の単体での営業収益が対前年比で102.0%となったが、営業利益、経常利益は3期ぶりの減益となるなど、費用面を含めた経営環境の厳しさや、観光需要の反動減が予想される等マイナス要素が存在していることから今後の見通しは楽観できる状況にないとなりました。さらには当社の賃金水準は極めて高いとし、東海道新幹線の開業50周年と中央新幹線着工認可という節目として、社員の一層の奮起を強く期待し、3.0ヶ月分支給するとなりました。組合要求3.5ヶ月をはるかに下回る支給月数であり、私たちが要求していた東海道新幹線の開業50周年を記念した5万円分の商品券についての回答はありませんでした。本部は回答に対して「大いに不満である」と表明し、持ち帰り検討の結果再申し入れを行います。

### 2014年度年末手当の会社回答

1. 支払い月数は、3.0ヶ月分とする
2. 支給日は、12月10日以降準備でき次第とする

#### 【主な議論】

組合：J R 東海労の要求は3.5ヶ月分である。要求からしてあまりにも低すぎる回答である。

会社：変動に大きく左右されることなく安定的支給を維持することが重要であると考え今回の回答とした。

組合：35歳ポイントでの支給額はいくらとなるのか。

会社：他企業の発表の仕方にばらつきがあるので比較対象とならない。J R 他社も控えていることから必要がない。賃金交渉を参考にすればわかる。

組合：会社はJ R 東海の賃金水準が高いと主張したが比較ができないのではないかと。ポイント賃金を明らかにすること。また、原資、平均支給額、ボーナスカット者の数を明らかにすること。

会社：示すことはしない。有価証券報告書に載せている通りだ。

組合：東海道新幹線の開業50周年記念 5 万円分の商品券の回答はないのか。

会社：回答した通りである。

組合：年末手当の低額回答と商品券を支給しないことについて大いに不満だ。  
持ち帰り検討とする。

以上

**本部は、「回答」を不満として持ち帰り検討の結果、再申し入れを行います。**

平成 26 年度年末手当交渉 回答時発言

当社の第 2 四半期累計期間における業績は、運輸収入が対前年 102.0%となり営業収益こそ増収となりましたが、一方で営業利益、経常利益は 3 期ぶりの減益となるなど、費用面を含めた経営環境は依然として厳しく、今後の見通しについても景気動向の不透明感に加え、昨年の式年遷宮や東京ディズニーランド開業 30 周年等による効果の一巡により観光需要の反動減が予想されること等、様々なマイナス要素が存在しており、決して楽観できる状況にはありません。

また、当社の賃金水準は、JR 他社はもちろん世の中の相場と比較しても極めて高く、その中であって今年度は 6 年ぶりにベースアップを実施し、既に相当高い水準に到達しています。一方、鉄道事業を中心に公益性の高い事業を営む当社としては、期末手当の業績給としての性格を勘案しつつも、その短期的な変動に大きく左右されることなく安定的な支給を維持することも重要であると考えています。

以上の観点を踏まえ、目下の経営環境は新幹線の大規模改修工事等、安全安定輸送を守り抜くために必要な経費支出が継続する厳しい状況にあるものの、今年度上期は、中央線をはじめとする自然災害による輸送障害へ迅速に対応するなど安全安定輸送の確保に尽力した社員の努力に会社として精一杯報いるとともに、東海道新幹線の開業 50 周年と中央新幹線着工の認可という節目を同時に迎えることとなったこのタイミングを捉え、社員全員が気持ちを新たに、一丸となって各種施策の着実な推進に一層奮起することを強く期待し、年末手当の安定的支給ベースである 2.9 箇月分に、0.1 箇月分を上積みし、3.0 箇月分支給することとしました。

社員の皆さんには今回の回答を踏まえ、今後とも安全安定輸送を最優先に、さらなる経営体力の充実や三世代の鉄道事業の運営体制の再構築に向け、高い自覚のもと、お客様の信頼に応え続けるべく、完璧な仕事を目指して一層精励されることを強く期待するものです。